



リボナイト

使用説明書

ボーリング用泥水調整剤

リボナイトは、フミン酸ソーダ、リグニンスルホン酸ソーダを主成分とした泥水調整剤であり、従来、泥岩類、凝灰岩類、および粘土類などの軟弱地層において、ベントナイト泥水では膨潤、崩壊等の問題が発生し掘進が困難でありました。リボナイトは、それらの地層の泥化、膨潤を抑制し、また崩壊防止する機能を有する優れた調整剤であり、石油、天然ガス関係を、初めとして、各種の探鉱ボーリングに幅広く使用されて、その優れた性能は広く認められています。

株式会社 テルナイト

1 リボナイトの一般性状

外 観	黒褐色微粉末
水 分	10～15%以下
溶解度	50%以上
pH (1%溶液)	7.0～8.5

2 リボナイトの特徴

- 1) 低く安定した粘性を保つことが出来ます。
- 2) 泥岩類、凝灰岩類の泥化抑制力、崩壊防止力が優れています。
- 3) 脱水量が少なく、薄くて強い泥壁を作ります。
- 4) 地層中の塩水、セメント等によって汚染された泥水の流動性の改善に優れた効果を示します。
- 5) 高温度 (100℃～120℃) に対しても安定した性質を保ちます。

3 リボナイトの使用量

標準使用量

A) 分散剤として	リボナイト添加量
ベントナイト泥水	1.0～2.0%
B) 抑制剤 (泥化、膨潤)、崩壊防止剤として	3.0%以上
リボナイト泥水標準組成	
清 水	100
ベントナイト	6～10%
リボナイト	2～3%
CMC (テルセローズ)	0.1～0.2%

4 リボナイトの泥水標準性質

	ロータリー工法	コアリング
粘性 (500/500c.c.)	30～40 秒	23～30 秒
比重	1.05～1.10	1.04～1.07
脱水量	7c.c. 以下	7c.c. 以下
泥壁	1mm 以下	1mm 以下
pH	10.0～10.5	10.0～10.5
リボナイト含有量	2%～3%	2%～3%

5 リボナイトの使用方法

- * 粘性およびリボナイト添加量は、地質条件、掘削工法により異なりますので、各現場の条件等により判断、決定して下さい。
- * リボナイト泥水作泥の場合、清水にベントナイト 6%～10% 添加後、10～15 分間、攪拌後（良くベントナイト膨潤させる）リボナイト添加し 3～5 分間授拌後、苛性ソーダにて pH 調整して下さい。また、リボナイト泥水の脱水量を更に少なくしたい場合には、テルセローズ（TE-MS または TE-TL）を、泥水量に対して 0.1%～0.2% 添加し脱水コントロールをおこなってください。
- * リボナイト自体、スライム等に吸着され減少してきますので、リボナイト含有量は常に一定量維持して下さい。また、泥水性質や流動性を安定させる為に、pH は、常に、10.0～10.5 を保つ様にして下さい。
- * ソリッドコンテンツが高いと泥水性質が悪化し（脱水量の増加、粘性やゲルストレングスの上昇）、坑内トラブル（張り付き、抑留、崩壊等）の原因となりますので、リボナイトの補給の他に、ベントナイト泥水や水割り等を加えて泥水性質を維持する様に調泥して下さい。

6 荷 姿

クラフト袋入

1 袋 20kg 入

株式会社 テルナイト

本 社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-3
Daiwa神保町3丁目ビル5階
TEL 03(5843)0013 FAX 03(3221)5061

西日本営業所

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原2-13-1
サンパレス新大阪2階
TEL 06(6397)5249 FAX 06(6397)9681

代理店